

第5 公営企業の業務の状況

1 電気事業

(1) 平成27年度予算及び経営状況

年間総販売電力量を1億6,400万キロワットアワーと見込み、これを基礎に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、電気事業収益16億9,289万円、電気事業費用15億6,498万4千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入3,131万7千円、資本的支出23億9,621万8千円を計上し、資源の有効利用と販売電力量の増加を図るため、中小水力発電開発事業として新たな電源開発となる平瀬発電所の建設工事に着手します。併せて、既存施設の未利用落差を利用した小水力発電開発のモデルとして、平成28年4月の運転開始に向け宇部丸山発電所の建設に取り組みます。

なお、水力発電の経営は、気象条件に左右されますので、貯留水の効率的運用を図ることはもちろん、気象状況の早期把握、関係機関との密接な連携などを図り、販売電力量の確保による収入の増加と経費の効率的執行により経営の安定化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第11表 平成27年度電気事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	平成27年度 (A)	平成26年度 (B)	増 減 (A)-(B)
年間総販売電力量	163,671 MWH	179,910 MWH	△16,239 MWH

第12表 平成27年度電気事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	平成27年度 当初予算額(A)	平成26年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)／(B)
収 益 的 収 入				
電 気 事 業 収 益	1,692,890	1,735,449	△ 42,559	97.5
営 業 収 益	1,665,166	1,680,915	△ 15,749	99.1
附 帯 事 業 収 益	12,045	12,045	0	100.0
財 務 収 益	4,270	2,496	1,774	171.1
事 業 外 収 益	11,406	15,730	△ 4,324	72.5
特 別 利 益	3	24,263	△ 24,260	0.0
収 益 的 支 出				
電 気 事 業 費 用	1,564,984	1,589,834	△ 24,850	98.4
営 業 費 用	1,490,238	1,432,120	58,118	104.1
附 帯 事 業 費 用	7,578	8,852	△ 1,274	85.6
財 務 費 用	34,644	41,632	△ 6,988	83.2
事 業 外 費 用	29,521	80,303	△ 50,782	36.8
特 別 損 失	3	23,927	△ 23,924	0.0
予 備 費	3,000	3,000	0	100.0
資 本 的 収 入				
資 本 的 収 入	31,317	1,621,680	△ 1,590,363	1.9
資 本 剰 余 金	17,283	917	16,366	1,884.7
固 定 資 産 収 入	1	1,600,001	△ 1,600,000	0.0
雑 収 入	14,033	20,762	△ 6,729	67.6
資 本 的 支 出				
資 本 的 支 出	2,396,218	454,538	1,941,680	527.2
建 設 費	357,000	140,000	217,000	255.0
改 良 費	254,869	127,103	127,766	200.5
投 資	1	1	0	100.0
償 還 金	181,248	184,334	△ 3,086	98.3
長 期 貸 付 金	1,600,000	0	1,600,000	—
補 助 金 返 還 金	100	100	0	100.0
予 備 費	3,000	3,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額23億6,490万1千円は、内部留保資金（損益勘定留保資金、減債積立金及び消費税資本的収支調整額）で補てんします。

(2) 平成26年度下半期の業務の概要

平成26年度は、年間を通じた降雨量は、県下主要ダム（電気事業関連）地点で平年の95%となり、平成26年度の販売電力量は目標に対して93.1%、電力料金収入は目標に対して98.6%となりました。

また、最終の2月補正では、収益的収入予算においては、電力料金収入の減などにより4,189万7千円の減額補正を、収益的支出予算においては、物件費の減などにより6,007万5千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において16億9,355万2千円、収益的支出において15億3,662万9千円、資本的収入において16億3,465万2千円、資本的支出において2億7,736万6千円となりました。

なお、中小水力発電開発事業として平瀬発電所の建設事業を継続実施しました。

第13表 企業債及び一時借入金の状況(電気事業)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		平成26年度末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	3,535,000	184,334	2,434,770	1,100,230
錦川水系発電所	1,559,000	85,065	983,621	575,379
佐波川発電所	286,000	15,693	170,556	115,444
木屋川発電所	516,000	25,198	439,573	76,427
新阿武川発電所	248,000	12,893	154,127	93,873
末武川発電所	758,000	36,190	560,864	197,136
小瀬川発電所	168,000	9,295	126,029	41,971
一 時 借 入 金	—	—	—	0

2 工業用水道事業

(1) 平成27年度予算及び経営状況

年間総給水量5億8,000万 m^3 と見込み、これを基礎に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、工業用水道事業収益69億802万4千円、工業用水道事業費用61億1,866万9千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入17億9,729万1千円、資本的支出48億2,737万4千円を計上し、企業債17億2,679万1千円を償還するほか、工業用水の安定した供給に資するため、島田川工業用水道建設事業などを実施します。

さらに、企業立地セクションと緊密に連携した需要開拓の強化をはじめ諸施策に引き続き取り組み、工業用水道事業の経営基盤強化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第14表 平成27年度工業用水道事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	平成27年度 (A)	平成26年度 (B)	増 減 (A)-(B)
年 間 総 給 水 量	579,674,750 m^3	578,652,750 m^3	1,022,000 m^3

第15表 平成27年度工業用水道事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	平成27年度 当初予算額(A)	平成26年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)/(B)
収 益 的 収 入				
工業用水道事業収益	6,908,024	24,487,226	△ 17,579,202	28.2
営 業 収 益	6,362,427	6,377,609	△ 15,182	99.8
営 業 外 収 益	540,438	542,271	△ 1,833	99.7
事 業 外 収 益	0	2	△ 2	—
特 別 利 益	5,159	17,567,344	△ 17,562,185	0.0
収 益 的 支 出				
工業用水道事業費用	6,118,669	52,284,213	△ 46,165,544	11.7
営 業 費 用	5,563,337	5,550,862	12,475	100.2
営 業 外 費 用	545,230	701,772	△ 156,542	77.7
事 業 外 費 用	0	178	△ 178	—
特 別 損 失	102	46,021,401	△ 46,021,299	0.0
予 備 費	10,000	10,000	0	100.0
資 本 的 収 入				
資 本 的 収 入	1,797,291	1,292,101	505,190	139.1
企 業 債	1,600,000	1,200,000	400,000	133.3
資 本 剩 余 金	114,781	20,724	94,057	553.9
固 定 資 産 収 入	1	1	0	100.0
雑 収 入	82,509	71,376	11,133	115.6
資 本 的 支 出				
資 本 的 支 出	4,827,374	4,167,284	660,090	115.8
建 設 費	426,300	55,300	371,000	770.9
改 良 費	2,664,282	2,215,543	448,739	120.3
投 資	1	1	0	100.0
償 還 金	1,726,791	1,886,440	△ 159,649	91.5
予 備 費	10,000	10,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額30億3,008万3千円は、内部留保資金(損益勘定留保資金及び消費税資本的収支調整額)で補てんします。

(2) 平成26年度下半期の業務の概要

平成26年度は、降雨量が県下主要ダム(工業用水道事業関連)地点で平年の93%となり、月ごとの降雨量の変動も大きく、年間を通じての実給水量は、契約水量に対し、69.2%(昨年度71.1%)となりました。

また、工業用水の安定した供給に資するため、建設事業として島田川工業用水道建設事業などを実施するとともに、需要の開拓、企業債残高の縮減などの経営基盤強化に取り組みました。

最終の2月補正では、収益的収入予算においては、営業収益の増加などにより2億1,496万1千円の増額補正を、収益的支出予算においては、営業費用の減少などにより2億5,458万5千円の減額補正を、それぞれ行いました。また、資本的収入予算においては、企業債の減少などにより4億5,401万2千円の減額補正を、資本的支出予算においては、改良費の減少などにより5億2,981万5千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において247億218万7千円、収益的支出において520億5,338万4千円、資本的収入において8億5,118万9千円、資本的支出において36億8,116万9千円となりました。

第16表 企業債及び一時借入金の状況(工業用水道事業)

区 分	発行総額	償 還 額		平成26年度末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	36,887,691	1,890,683	18,191,852	18,695,839
小瀬川工業用水道	2,493,000	143,690	1,498,610	994,390
向道・川上工業用水道	1,067,000	51,331	532,083	534,917
周南工業用水道	9,437,000	393,559	2,711,854	6,725,146
佐波川工業用水道	583,000	32,315	222,767	360,233
厚東川工業用水道	6,546,000	311,038	3,032,426	3,513,574
木屋川工業用水道	3,390,000	171,893	1,740,682	1,649,318
生見川工業用水道	322,000	45,282	302,170	19,830
富田夜市川工業用水道	1,392,000	42,025	358,051	1,033,949
厚東川第2期工業用水道	1,658,000	65,207	613,662	1,044,338
厚狭川工業用水道	2,676,000	139,555	1,511,611	1,164,389
木屋川第2期工業用水道	1,781,000	145,827	1,649,971	131,029
末武川工業用水道	890,000	105,106	785,727	104,273
佐波川第2期工業用水道	544,000	68,860	478,102	65,898
小瀬川第2期工業用水道	4,108,691	174,995	2,754,136	1,354,555
一 時 借 入 金	—	—	—	0